

平成30年9月

「ありがとう、築地市場！」トイレ掃除に学ぶ

(株)ホッピーさんのホームページで社員が素手でトイレ掃除をしている動画を流した。飲食業に携わる人が素手でトイレ掃除をするなんて信じられない。もうホッピーは飲まないとか欧米では囚人の罰としてトイレ掃除をさせているそんな時もある。もっと生産性の上がることに時間を使いなさいとか批判が集中しホームページが炎上したとある新聞記事にありました。しかし社長の石渡さんは、「社員の心を磨くには心を取り出して磨くゆけにはいかなないので、目の前に見えるところを磨く。特に人のいやがるトイレをきれいにすると、心も美しくなる。人は、いつも見ているものに心も似てくる。」と言っています。

私は間違いない。石渡さんが正しくて、批判する人がおかしいと思っています。今の世の中、正しいことを言っている人やしている人が少なく、人の悪口や批判ばかりする人が多く存在しているように思います。私はホッピーの石渡社長はすばらしい教育者だと思います。

8月26日の日曜日の朝8時から、築地場内市場のトイレ掃除が行なわれました。主催は「日本を美しくする会」で総数約400名の参加者でした。築地市場は今年の10月11日豊洲市場に移転するので、今年が最後になります。毎年トイレ掃除をしてきましたが、私の経験では、日本で一番きたないトイレは築地市場ではないかと思っています。

私が今日のきたない字シリーズで感動に伝えたかったことは、新宿調理師専門学校の上神田校長と先生、生徒さん200人のことです。私は生徒さんに「何故トイレ掃除に参加したのですか」と聞いた。私達はいつも築地市場から料理の材料を仕入れて調理しています。感謝の気持ちでトイレ掃除に参加させてもらいました。」と答えてくれました。また20歳にも満たない若者がこのような言葉を発するのは、教育者が立派だからだと思いました。また昼食には、生徒さんの半数の100名に舞鶴の海軍直伝レシビ「元祖海軍カレー」を全参加者400名分を調理して頂きました。本当最高の味でした。

おわかりできなかったのが残念です。上神田校長の話によると、最初トイレ掃除に取り組むとした際は、「料理を扱う学校なのに、素手でトイレ掃除をするなんて、校長は何を考えているんだ」と理事長に直訴する方がいるほど反発を受けたそうです。それで上神田校長は、鍵山先生の「食の心は広まりにくい、悪いことはすぐ広まる」の言葉の通り、トイレ掃除を生徒たちへ浸透させるのは大変と感じたが、逆に奮起し、不屈の精神で生徒たちに参加を呼びかけたそうです。そうして、インターンで就業中の方以外、全員が参加されたそうです。さらに先生は、調理師という職業柄、直接・間接的に築地市場にはお世話になっており、今回は築地市場への恩返しとして参加した。いざ取り壊される建物だから、と最後にきれいにすることに意味があると思った。また調理を教える学校ですが、美味しいものが作れるからといって、「俺の技術はすごいだろう」と自慢するおじいちゃん調理師ではなく、食べる方の「心の胃袋」まで満たすような心根のあたたかい人になってほしいと考え、教育しています。」とおっしゃいました。

学校も校長の考へる方行動力で生徒の考へる方、行動、人生が変わるように、私達中小企業の経営者も教育者にならなければいけないと痛感しました。教育の目的が、利益を出すためのトイレ掃除や環境整備をする業績中心の経営ではなく、教育は社員の人間性を高める心の教育でなければ、社員のトイレ掃除や環境整備はいつまでも形骸で心がついていかなければいけません。私は中小企業だからこそ社員を幸せにする心の教育ができると思っています。

学校も校長の考へる方行動力で生徒の考へる方、行動、人生が変わるように、私達中小企業の経営者も教育者にならなければいけないと痛感しました。教育の目的が、利益を出すためのトイレ掃除や環境整備をする業績中心の経営ではなく、教育は社員の人間性を高める心の教育でなければ、社員のトイレ掃除や環境整備はいつまでも形骸で心がついていかなければいけません。私は中小企業だからこそ社員を幸せにする心の教育ができると思っています。

古田上 満